

目的

社会全体で子育てを応援する東京を実現する

テーマ

子育てを楽しむお父さんを応援しよう

子育てのバリアがないまちにしよう

1 気運の醸成

子育て応援とうきょう会議として、以下の取組を行う。

(1) メッセージの発信(5月)

(2) 普及啓発
広報活動(通年)

新聞広告、ポスター作成・配布及び啓発グッズの作成・配布等

キャンペーン月間の実施(11月)

家族の日(11月第3日曜日(16日))及び八都府県市ワークライフバランス推進キャンペーンに合わせて、他団体・企業とともに短期集中的に「子育て応援」のための取組を実施(内容検討中)

フォーラムの開催

都民向けフォーラム

日程・場所:平成20年11月22日(土曜日)、場所未定

内容:子育て世帯を対象
対談及びパネルディスカッション

企業向けフォーラム

日程・場所:平成21年2月18日(水曜日)、東京国際フォーラム

内容:東京都産業労働局主催「いきいき職場とうきょう大会」と共催で実施
企業を対象に子育て支援の観点からワーク・ライフ・バランスへの取組を呼びかける

NPOと行政向けフォーラム

日程・場所:平成20年10月から12月までのいずれか1日、都議会議事堂都民ホール

テーマ:(仮)NPOと行政の協働の方途について
内容:NPOと区市町村の事例発表及びシンポジウム

イメージキャラクターによる広報展開(4回)

マスコットキャラクター・キャッチコピー表彰式、フォーラムへの出演及び
キャンペーンへの参加等



(3) 情報提供

子育て応援サイトの開設(10月)

ホームページの仕様は準備委員会を設置して検討。子育てに関する情報に精通し、子育て支援のホームページ作成に関する専門的なノウハウを持つ事業者を募集し、企画提案により制作を委託。

【コンテンツ(情報提供等)のイメージ】

子育て応援とうきょう会議のメッセージを発信
子育て応援とうきょう会議や構成団体の取組を紹介
子育て支援サービスやイベント等の情報提供
子育て支援団体・NPOに関する情報提供(子育て支援ニーズとのマッチングを含む)
父親の子育てを応援するための情報提供
区市町村子育てポータルサイトへのリンク など

2 協働事業の実施

子育て応援とうきょう会議とその構成団体とが協働して、以下の取組を行う。

(1) NPOによる父親授業(11月)

社会人になる前の学生時代に、父親の役割の重要性和子育ての楽しさを教える。将来結婚して親になったときの一つの指針として、健全な次世代育成はもちろん、自身のワーク・ライフ・バランスの考え方にも活かしてもらう。

【実施内容(案)】

特定非営利法人ファザーリング・ジャパンが男女共学の高校において「父親授業」を実施
2時間×2回程度(1回目は講義+グループトーク、1週間おいて2回目は作文の発表(将来、本人が出生届を提出したときに郵送されるしくみを検討))

(2) 大学生によるワーク・ライフ・バランス企業への取材と発信(8月)

ワーク・ライフ・バランスを進めている、あるいは進めようとしている企業の経営者等に学生がインタビューを行い、これから社会に出て行く立場から今の企業のワーク・ライフ・バランスを発信する。

【実施内容(案)】

大学生が大企業や中小企業の経営者等にインタビューを実施
成果を「子育て応援サイト」や企業向けフォーラムで発表

(3) 安心安全なベビーカー利用のための意見交換会(7月~)

子育てに携わる方と鉄道事業者とが意見交換する機会を設け、ベビーカー連れの方もそれ以外の方も安心安全に鉄道を利用できる環境づくりについて考えるきっかけづくりとする。

【実施内容(案)】

鉄道事業者、子育て支援NPO及び東京都(子育て応援とうきょう会議事務局)とで意見交換を行うとともに、その成果を社会全体に発信することを模索

3 主体的な取組の推進

子育て応援とうきょう会議の各構成団体が子育て支援に関する取組を主体的に展開するとともに、子育て応援サイト等で広く紹介

4 次世代育成支援東京都行動計画への意見反映

子育て応援とうきょう会議の取組成果を次世代育成支援東京都行動計画に反映

【実施内容(案)】

実行委員会において、保育やワーク・ライフ・バランスなどのテーマ別に集中討議